

「人」

横須賀市立馬堀中学校 三年 小栗 和佳

私は一度、人を嫌いになったことがあります。その原因は、周りの人たちの、疑いたくなるような態度や、心につきささるような言葉でした。初めのうちは、その態度や言葉に怒りを感じながらも、「そういう人だから仕方ない。もうこのことは忘れよう。」などと、前向きに考えていましたが、そのような事がいくつも度重なり、裏切られた気持ちが強くなりました。そして、一人でいる方が楽に感じるようになりました。移動教室も一人、休み時間も一人、初めて学校が楽しくなくなりました。人と関わりたくないと思い始めているのに、誰もそばに来てくれない事は、やっぱり寂しくて……。その矛盾に悩まされ、自分でも、どうすればいいのかわからなくなりました。たった三、四人の態度や言葉で、人と関わるのが嫌になり、学校が嫌になりました。

神様は、乗り越えられない試練は与えないといっています。もし、その試練から逃げれば、成長できないと思います。試練の壁が立ち

だかった時こそ、成長できるチャンスなんだと思います。壁と向き合うことは楽なことではなく、つらく厳しいものだと思いますが、壁を乗り越えた時、たとえ乗り越えられなくても、立ち向かっていた時に、そのまま逃げてしまえば得られなかった何かを得られると思います。

自慢ではありませんが、私は、目の前の事から逃げたことはありません。今までつらいことがたくさんありましたが、いつだって立ち向かってきたつもりです。そんな私に、「あなたは麦のようだね。」と母は言います。麦は、いくら踏まれても起き上がり、その度に、強くたくましくなります。私は自分を褒めることが好きではありませんが、母の言葉を聞いた時、自分を誇りに思いました。きっとこの先、また新たな試練や、もっと困難で面倒臭いことが待ち受けていると思います。しかし、私は、何度倒れても立ち上がり、どんなことにでも、あきらめずに向かっていきたいと思えます。その時はつらくても、振り返った時に、自分を褒めてあげられるようになっていたいです。

人は人によって傷つきます。しかしまた、人のおかげで優しい気持ちになれます。人のおかげで成長できます。強くなれます。人の

持っている力はすごいんだなと感じました。人は人とふれあい、人とわかち合い、人とわかりあい、人と協力し、人とぶつかり、悩み、考え、学び、そして、「人」となるのだと思いました。人は人と関わり、学ばなければ、人ではなく、人間という生き物にしかなれないのではないかと思いました。つまり、今までに出会い、あんな事もあった、こんな事もあったと思える、あの人も、その人も、関わった全ての人が、今の自分をつくってくれたのだと思います。

私は人の持っているものの中で、笑顔が一番好きです。笑顔を見ると、ほっとするし、嫌なことも忘れられて、落ち込んで元気がなくても、前向きになれます。つらくて、苦しい時に、誰か一人でも、そばで、「大丈夫だよ！」と笑っていてくれたら、それだけで私は、心が救われ、楽になれます。それから、悩みを抱え込んで苦しい時は、わざとでも笑ってみれば、自分の悩みが、ちっぽけなものに見えるかもしれません。笑顔は、一人一人、だれもが持っている宝物だと思います。だから、私は、笑顔を大切にしようと思いました。

人は一人ではなんにもできません。つまり、人は必然的に人と関わらなければいけません。それならば、みんなが気持ちよく生活し

ていけるように、一人一人がもつと人の気持ちを理解しようとし、
支えあって生きていければいいと思います。